

ISSN 1882 - 305X

アジア学科年報

第 5 号

2011 年 12 月

追手門学院大学国際教養学部アジア学科

ア
ジ
ア
学
科
年
報

第
五
号

追
手
門
学
院
大
学
国
際
教
養
学
部
ア
ジ
ア
学
科

THE ANNALS OF THE DEPARTMENT OF ASIAN STUDIES

No. 26, New Series No. 5 December 2011

CONTENTS

Articles:

- A Study on some kinds of *Toyotomi Hideyoshi* biography
.....H. Okuda (1)
- On the Verse 'Rājasimho'K. Shoshin 1

Notes:

- A Study of Suffix *san* in OsakaY. Kushibiki (20)
- The Japanese Translation and Commentaries on The Value
and Evaluation of Confucianism by Ch'en Lai 陳来H. Takeda (26)

Japanese Translations:

- A Report on Hsüian-chüan 宣卷 or Fork-Ritual Performance,
in Shao-hsing 紹興: 1998, An-ch'ang 安昌 by Ku Hsi-chia 顧希佳
.....Y. Matsuka, Ch'iu Chün (40)
- An Annotated Japanese Translation of the *Sarvasiddhantaṭṭraśāstra*
.....T. Tsujimoto 12

- Miscellanea (80)

Published by
THE DEPARTMENT OF ASIAN STUDIES
Otemon Gakuin University
Ibaraki, Osaka, Japan

アジア学科年報

第 5 号

(通巻第 26 号)

2011 年 12 月

追手門学院大学国際教養学部アジア学科

目次

《論考》

- 秀吉の生誕と幼少期の追検証……………奥田尚(1)
- 「ラージャスインハ」詩節について……………正信公章 1

《研究ノート》

- 大阪方言の接尾辞「サン」……………榎引祐希子(20)
- 陳来著「伝統的儒学の評価と省察」の和訳及びコメント……………武田秀夫(26)

《翻訳》

- 紹興・安昌の宣卷調査……………顧希佳著、松家裕子・仇俊訳(40)
- 『サルヴァシッダーンタブラヴェーシヤカ』『ローカーヤタ章』和訳……………辻本俊郎 12

《資料》

二〇一〇年度卒業研究

題目・氏名一覧……………

(80)

各ゼミナール代表作要旨……………

(84)

各ゼミナール紹介……………

(95)

教員のページ……………

(98)

二〇一〇年度秋学期・二〇一一年度春学期のアジア学科……………

(106)

追手門学院大学 アジア学会会則……………

(110)

編集後記

編集後記

★アジア学科年報第五号（通巻第二十六号）をお届けします。今回は、論考に二篇、研究ノートに二篇、仮新設の翻訳欄に二編、教員のページに三篇が寄せられました。学科教員以外では、一号より毎号投稿を続けられている大阪経済法科大学アジア研究所客員研究員の辻本俊郎氏（本学文学研究科中国文化専攻修了）より貴重な原稿を頂くことができました。ご多忙の折にもかかわらず御執筆頂きました諸先生に心よりお礼申し上げます。ととも、早くに寄稿下さいました諸先生には、今回も発行が大変遅れて御迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び致します。★今年もやはり厳しい年であった。何よりもショックであったのは、三月十一日（金）十四時四十六分に東北地方一帯を突如として襲った大地震（マグニチュード9.0）による大津波、火災等による災害そして東電福島第一原発の崩壊など、信じられない悲惨な光景をテレビで見なければならなかったこと。かつて一九五一年一月十七日五時四十六分に神戸・淡路を襲った大地震（マグニチュード7.3）の時はうろたえて右往左往した方々のご冥福を祈るとともに、復興の一日もはやい達成を願うが、個人としてせめて出来ることだけでも、と思わずにはおれない。

★傷心に追い打ちをかけるように届いたのが、上村祥二先生の訃報（八月十八日）の知らせであった。温厚洒脱な人柄で、多くの学生から慕われていた先生が、病気を理由に退職されたのは二年前のことであった。言葉も無く悲しむばかりである。

★最後に嬉しい知らせを一つ。この四月に新任として楢引祐希子先生（東北大学大学院出 国語学専門）が着任されたこと。国語教員免許（中学、高校一種免許）取得が可能になったことによるもの。先生は奇しくも三月十一日新任地の大阪に向かうために仙台駅で新幹線を待っていて地震に遭遇したのである。今先生はアジア学科の「アジアの風」欄に「震災後の東北」として貴重な体験記を連載しておられる。是非読んでいただきたい。若い先生の今後のご活躍を願うばかりである。（武田記）

アジア学科年報 第五号（通巻第二十六号）

二〇一二年十二月二十日
二〇一二年十二月二十五日

印刷
発行

発行所

〒567-8502 茨木市西安威二丁目一―一五

追手門学院大学アジア学会

会長

正信 公章

会務担当

奥田 尚

会計監査

筒井 由起乃

印刷所

〒600-8806 京都市下京区中堂寺鍵田町二

株式会社 印刷 同朋舎